

2015年1月29日

環境大臣 望月 義夫 様

和白干潟を守る会
代表 山本 廣子
福岡市東区和白1-14-37
TEL&FAX:092-606-0012

「和白干潟のラムサール条約登録」を求める署名提出について

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。新大臣におかれましては山積する課題に向かわれ、真摯に取り組まれることを期待しております。

福岡市の東部に位置する和白干潟は、国際的に重要な渡り鳥の飛来地として、環境省に2004年ラムサール条約登録候補地として挙げられております。

和白干潟を守る会はこの貴重な生態系を守り、次世代に引き継ぐために保全活動に取り組み、創立27年目を迎えます。

この間、干潟を取り巻く環境は博多湾の人工島建設によって悪化し、野鳥の飛来数の減少が続いており、ラムサール条約登録によって守っていただきたいと切望してまいりました。既にラムサール条約登録候補地に挙げられながら11年が経過しております。そこで、2015年のラムサール条約締約国会議で登録されますよう全力を挙げて、2012年11月より2年間にわたって署名活動を行ってまいりました。2013年は、12月19日、先の環境大臣に要望書と6,618名の署名をお届けしております。

その後、引き続き署名活動を展開してまいりましたので、第2次集計分2,940名分を今回お届けいたします。1次集計分とあわせて9,558名の署名になります。

福岡市長にも1次、2次集計分を合わせて9,723名の署名を提出しました。

全国から、このように多くの方々が、和白干潟のラムサール条約登録を求めています。

ラムサール条約締約国会議には是非とも実現させるべく、環境省としても福岡市に対し、検討を急ぐようご指導いただきますようお願い申し上げます。 敬具